

第2回 全校研修会

「多様な児童生徒に自分らしく社会貢献を実現する授業」
～各教科等の見方・考え方を働かせた授業づくり～

12月21日(木)に第2回全校研修会を行いました。今年度の研究は、各教科等における「見方・考え方」を働かせた学びをとおして、資質・能力が育まれ、それによって、「見方・考え方」がさらに豊かなものになっていくように推進してきました。研修・研究は、「多様な児童生徒に自分らしく社会貢献を実現する授業」～各教科等の見方・考え方を働かせた授業づくり～をテーマとして掲げ、目指す資質・能力を確実に育成するため、全校での授業改善に取り組んでいます。授業で育む資質・能力を明確にし、学習過程の中で、「見方・考え方」を働かせる場面の設定と児童生徒への評価を大切に授業づくりをしています。

第2回全校研修会は各学部の代表クラスの授業実践の発表と学部を越えたグループで各教科等における「見方・考え方」を視点にした授業づくりのグループワークをしました。長岡京市立長法寺小学校の中川教頭先生、長岡京市立長岡中学校の廉隅教頭先生、特別支援教育課の新田指導主事から実践の総評を含めたお話をいただきました。それぞれの総評では、できないことに着目するのではなく、できることを輝かせる活動や、主体性を引き出す支援、本時の目的や目指す姿を指導者で共有しているからこそそのスムーズな授業展開等私たちにたくさんの激励のお言葉をいただきました。

授業実践やグループワークでの気づきや学びから、学校の教育活動全体をとおして各教科等の「見方・考え方」を働かせ、主体的・対話的で深い学びにつながる授業実践になるように生かしていきたいと思えます。

